



関西支部報

http://jac.or.jp/kns/

支部長就任のご挨拶

水谷 透

このたび関西支部の第9代支部長に就任することになりました。今西壽雄、阿部和行、重廣恒夫、金井良碩、茂木完治の5人の支部長のもと、一時離れていた時期があるものの30年近くにわたり委員・役員を務めて参りました。歴代支部長がそれぞれ特徴ある支部運営をされてこられたことを思うと、私に満足な支部運営をできるのかと、些か不安がよぎります。

その不安を解消するため、役員会の構成を少し変更させていただきました。今まで一人の理事が一つの業務を担当しておりましたが、複数の理事に一つの業務を、また一人の理事に複数の業務を担当していただくことにしました。その理由として、昨年末に山行を担当されていた黒田記代理事が急逝され、一時的ではありますが業務に混乱が生じ、僅かながら支障がありました。このような事態に陥ることを避けたいことが一つです。さらに支部運営を若い人にも担っていただけるよう、業務の引継ぎをスムーズかつ容易にできる体制を整えることも理由の一つです。

さて、2年後の令和7年(2025年)に、関西支部は設立90周年を迎えます。「関西支部報」でもご紹介しておりますように、「関西支部設立90周年記念事業」として幾つかの事業を計画しております。このうち「関西のアルプス踏査」、「ヒマラヤ登山塾」は一昨年より始まっており、今年からは海外登山もスタートいたします。また、記念誌の発刊に向けても動き出しました。そして令和7年度に「関西支部設立90周年記念式典」は「全国支部懇談会」を併催して開催することになります。そのために式典・フォーラムの具体的な検討を始めることになります。現在実施中の記念事業の遂行と記念式典を滞りなく実施するための準備に勤しんで参ります。

このような派手ともいえる事業とは裏腹に、関西支部ではかつてない財政悪化が表面化してきております。一昨年より支出削減に取り組むべく数々の方策を検討・実施してまいりましたが、大きな効果を得られるまでには至っておりません。

1993年度より支部会費の徴収は始まりました。(それ以前は本部からの交付金で運営しておりました。)それ以降、支部会費を改定することなく運営してまいりましたが、ここ数年は赤字体質に陥っております。支出の大きなも

「夏季懇親会」のご案内

日時：8月6日(日)16時30分～18時30分
場所：ニュートーキョー第一生命ビル店
北区梅田1-8-17第一生命ビル地下2階
電話 06-6346-7451

会費：4,000円

同封のハガキに63円切手を貼り、氏名・電話番号・メールアドレスを記載して7月15日までに申し込みにください。

※申し込み後のキャンセルは3日前までにお願いします。

連絡先：
行事担当 中久保忠伸
電話090-1449-3667



編集後記	22	支部長就任のご挨拶	水谷 透
スケッチ同好会	21	令和5年度 議案報告	2
自然保護行事案内(7月～9月)	21	支部山行報告	6
山行委員会行事案内(7月～9月)	18	1 支部山行報告	6
会務報告	17	2 山岳古道調査	12
8 自然保護報告	16	3 ヒマラヤ登山塾	13
7 道迷い講習会	16	4 救命講習会	15
6 山の天気ライブ授業	15	5 第6回リーダー養成講習会報告	15
5 第6回リーダー養成講習会報告	15	6 山岳古道調査	12
4 救命講習会	15	7 道迷い講習会	16
3 ヒマラヤ登山塾	13	8 自然保護報告	16
2 山岳古道調査	12	会務報告	17
1 支部山行報告	6	山行委員会行事案内(7月～9月)	18
支部山行報告	6	自然保護行事案内(7月～9月)	21
令和5年度 議案報告	2	スケッチ同好会	21
支部長就任のご挨拶	1	編集後記	22

のは、支部ルームの賃貸料と「関西支部報」の発行・発送費用です。この2点で総支出の9割弱を占めております。

支部ルームは大阪駅から徒歩10分強と非常に便利な場所にあるため、以前と比べて利用率は高く、支部蔵書の収蔵も出来て非常に重宝しています。また、「関西支部報」は1958年5月の第1号より（1948年から1952年にかけて「関西支部時報」1～7号がある。）支部と支部会員を繋ぐ重要な役割を果たしております。

昨今、支部の年間行事数は目に見えて増え、それに伴い、支部ルームの利用頻度は増え、「関西支部報」に占める案内や報告も増えております。「関西支部報」に関しては、1991年からそれまで各々案内していた行事や山行も

集約・掲載し、定期刊行化することにより、費用削減を図った経緯もあります。今後は、将来のWEB化をも見据えて、経費削減を図るとともに支部財政の健全化に取り組む必要があります。幸い前支部長の尽力により増えた若い(現役世代)の支部会員の協力を得て、ネット環境にない支部会員にも配慮しつつ、WEB化の道筋を構築する必要があります。

「関西支部設立90周年記念事業」と支部財政の健全化への取り組み、この大きな二点が私に課せられた使命だと認識しております。ただ、これらは私一人の力で為せるものではなく、支部会員のご支援があってこそ実現できるものです。ご協力よろしくお願い致します。

支部山行報告

1. 支部山行報告

支部山行22-65 第16回関西のアルプス踏査
「大阪アルプス」

野村 康

1月15日(日)曇

大阪アルプスは、大阪市内の天保山（標高5m、安治川浚渫土砂で造られた山で三角点のある山で日本一低い）、帝塚山（20m、上町台地西縁にある国の史跡の前方後円墳）、聖天山（14m、上町台地の開析谷の尾根にある山）、茶白山（26m、大坂冬の陣と夏の陣の古戦場跡）、御勝山（14m、上町台地東縁にある前方後円墳で徳川秀忠が陣を設けた山）の五低山をいい、歴史散策を楽しめる。

大阪港駅①番出口から大観覧車を目指して進み、突き当たりの右手の天保山公園内に三角点と天保山跡の碑がある。海岸通を行き、難波津橋、日和橋、S字カーブ状のなみはや大橋を渡って南下し、突き当たりから東に進み、大運橋、千本松大橋（めがね橋）を経て阪神高速15号堺線に沿って南下。南港通で東に進み、阪堺電軌塚西駅から少し南下し、小高い所を目指して進めば帝塚山古墳がある。

南海帝塚山駅から北上すると松虫通に面して聖天山公園があり、上がった所の正圓寺の奥之院にピークがある。松虫通を東に進み、あべの筋を北上する。天王寺公園から、慶沢園、大阪市立美術館を経て、茶白山は和気橋を渡った所にある。四天王寺を経て、勝山通を東へ行くと御勝山があり、鶴橋駅まで道なりに進む。



茶白山山頂にて 写真提供：前田正彰

【コースタイム】

大阪港駅8:00～天保山8:10～帝塚山11:10～聖天山12:30～

茶白山13:25～御勝山14:20～鶴橋駅14:55

【参加者】

重廣恒夫、橋本圭之輔、薦田佳一、池尻英明、前田正彰、久保和恵、永井 和、松仲史朗、関戸京子、深澤優子、中村三佳、上森文字、野村 康 計13名

支部山行22-66 ゆるやか山行【里山探訪2】
歴史と文化を訪ねて「石切山・釣鐘山」

田中昌二郎

1月19日(木)晴

阪急電鉄山本駅前は雲ひとつない快晴だった。恒例のストレッチの後、この山域を熟知する橋本さん、山崎さんの先導で、最明寺川沿いに登ると、兩岸の岩壁は迫り、その奥に最明寺滝が現れた。行場でもあるようだ。その威容をカメラに収めて分岐まで戻り、左俣の径に入って小さな尾根を越え、井植山荘の屋根を見ながら本流沿いの車道に出て満願寺に着く。奈良時代創建の古刹で、多田満仲ら摂津源氏の祈願寺とのことで、源頼光の家臣坂田金時の墓、謡曲「仲光」に出てくる多田満仲の長男美女丸、家臣の仲光、その子幸寿丸の墓もあった。



全員無事下山しました！ 写真提供：青木 昭

山内の札所を巡って後、長尾台ふれあい公園で昼食。日差しがまぶしいくらいだ。食後、広葉樹の中の山径を辿って狭い尾根の上の石切山三角点に着くが、眺望なく、少し下の展望所で大阪湾やあべのハルカスなどが展望できた。更に標高差100m程下って電波塔の立つ釣鐘山に着くと、生駒山が眺められた。頂上南東部から一直線につけられた石段を下り、さらに川西能勢口駅まで下って解散となった。駅前のレストランで希望者による新年会があり、それぞれ歓談の時を過ごした。

【コースタイム】

山本駅9:50～中山分岐10:15～満願寺10:50～ふれあい公園12:00～石切山13:00～釣鐘山13:35～下山口14:00～川西能勢口駅14:30

【参加者】

久保和恵、山内幸子、新本政子、上田典子、内田嘉弘、薦田佳一、坂口和子、助川征、田中昌二郎、橋本圭之輔、深澤優子、松村文子、茂木完治、山崎 詮、山下政一、青木 昭、池尻英明、金沢清弘、黒岩敦子、高木知子、田頭夏子、田中アキエ、淡野隆久、中田 栄、播戸日出生、横山規江 計26名



豪華すき焼きで新人さんたちを大歓迎です 写真提供：中久保忠伸

支部山行22-68 月例会(1月) 新入会員歓迎会
「くろんど園地ですき焼きパーティ」

坂本明子

1月22日(日)晴

京阪私市駅に9時に集合する。地図の整置と基本的なコンパスの使い方のレクチャーを受けベテランの方と新人でペアになり出発する。月の輪滝、堰堤、送電線など読図の目印となる所で茂木支部長から説明を受ける。すいれん池休憩所でトイレ休憩を済ませ、沢渉りの道へ入る。駐車場まで食材を取りに行き、手分けして運ぶ。BBQ場に到着すると早速火起こし開始。小黑さんが食材の下処理をしてくださっていたおかげでスムーズに鍋の準備が進み、3班にわかれて熱々のすき焼きを食べる。お肉はとても柔らかく、野菜も味がしみていて本当に美味しかった。お鍋いっぱいまで食べきれなかったが、メのうどんまで完食した。茂木支部長から正三角形の図を使って元の地点へ戻るコンパスワークの方法や豊田さんから基本となるロープワークのレクチャーを受ける。生駒北スポーツセンターからバスに乗り、駅へと向かう。

初めてお会いする方も多く、少し緊張していましたが、火を囲み美味しいすき焼きを食べながら自然と打ち解けられた気がします。盛りだくさんの新人歓迎登山でした。これから行きたい山や今まで登った山の話などをお聞きすると、また一緒に、経験を積んでいろんな山に登れるようになりたい、と思いました。とても楽しく有意義な時間を過ごす事ができました。

【コースタイム】

私市駅9:35～月の輪滝10:00～すいれん池休憩所10:35～さわわたりの路入口11:02～駐車場11:29～BBQ場11:40～生駒北スポーツセンターバス停15:44

【参加者】

岡田輝子、茂木完治、小黑節郎、莉部聖子、坂本明子、棚橋史陽、辻 和雄、豊田哲也、永井 和、中久保忠伸、藤井裕人、井川浩彰、吉村恵利、播戸日出生、横山規江 計15名

支部山行22-72 月例会(2月) 50歳未満限定
「六甲ロックガーデン岩場巡り」

後藤健治

2月4日(土)晴

寒さは一時的に緩み、朝から気持ちの良い天気。絶好の山日和に心が浮きたつ。今回は若手メンバーに参加を限定しており、参加者が岩場初心者であったことから、芦屋地獄谷出合いの河原でハーネスの付け方から開始した。平坦な場所の立ち木にザイルをかけ懸垂下降の練習をする。ガスヒッチによるシュリングの強度低下など基本的な知識の確認も行ったのち、ゲートロック前に移動して実際に斜面を登攀する。「外岩は初めて」の言葉が信じられないくらい楽々と登る。いったん中間支点から懸垂下降をして岩場の取付に戻ったが、次は一気に2ピッチを登る。「楽し～！クライミング最高ー!!」その言葉に、茂木支部長の顔にも笑みがこぼれる。

岩場の次は地獄谷の廻行である。



ロックガーデンにて 写真：後藤健治

ここは茂木支部長が先頭を歩く。5月のキナバル、夏の韓国沢登りのこと、そして支部90周年記念事業のキリマンジャロの話を紹介いただき、われわれ若手の夢は膨らむ。ホワイトフェースの前で昼食休憩のあとA懸垂岩を横目にながめ万物相へと足を進める。大阪平野の向こうに生駒、金剛の山々も霞んでいた。午後の日差しに春を感じる。中央稜に合流した所でハーネス類を外してロックガーデンへと下山した。

大谷茶屋前では茂木支部長に慰労会を設けていただき、短時間ではあったが缶ビールでお互いの親睦を深める時間も、また楽しいひとときであった。

【コースタイム】

高座の滝9:30～ゲートロック11:30～ホワイトフェース13:30～A懸垂岩14:30～万物相15:00～高座の滝16:00

【参加者】

岡谷雄一郎、茂木完治、後藤健治 計3名

支部山行22-76 第17回関西のアルプス踏査 「御津アルプス」

永井 和

2月12日(日)晴

9月に暑さのために中断した御津アルプスに再挑戦した。2月とは思えない春の陽気で、低山の縦走には絶好のコンディションであった。おだやかな播磨灘を足もとに見ながら縦走を楽しむことができた。

網干駅からタクシーで碓岩北山の南の科尔近くの新池まで行き、縦走を再開した。稲富山、X山、Y山、Z山、嫦娥山と歩き、鳩が峰峠から室津港に下った。海に面した標高300mに満たない山並みは、照葉樹林の低木が主で、杉や桧の植林や落葉広葉樹がほとんどみられない。夏には葉が茂って、樹林の中は暗かったが、冬は幾分明るく感じる。夏には苦しんだシダのジャングルもまだまじだった。

標高は低いが、アップダウンがはげしい。とくにY山の登りと下りは急傾斜で、灌木をつかまなければずりおちてしまう傾斜だった。途中に大きなスラブ状の岩場もあり、アルプスらしい景観の場所もあった。

鳩が峰には室津街道の標示があり、江戸時代の西国大名は、海路室津港までやってきたあと、この峠を越えて山陽道に入ったという。シーボルトも江戸に行くときこの峠を通ったとのことである。

【コースタイム】

新池9:43～碓岩奥池西登山口10:09～稲富山10:59～X山

11:34～Y山12:54～Z山13:44～嫦娥山14:43～鳩が峰15:17～室津港15:55



Y山の岩場にて 写真：永井 和

【参加者】

重廣恒夫、岩崎しのぶ、薦田佳一、中山勝也、野村 康、前田正彰、永井 和 計7名

支部山行22-77 支部スキーツアー 「ハチ北スキー場」

小黒節郎

2月13日(月)雨

支部スキーツアーは三年振りの開催。バス組と車組に分かれて現地集合。参加者5名と今回は少人数となった。初日は雨のため、宿に滞在し、早い時間からレストランにてお酒を友に語らう。

2月14日(火)曇一時晴

すっかりしない天気だが、一瞬青空が広がることもあり大いにスキーを楽しんだ。最初はハチ北スキー場、後に鉢伏山を越えてハチ北高原スキー場へ。神戸大学の合歓の木山荘におじゃまして、ストーブを囲んで神戸大OBの方も加えて話はずんだ。

現在関西支部においては、スキー行事はあまり活発ではないが、今後山スキーの企画を実現できるよう活動していきたい。

【参加者】

金井健二、久保和恵、山内幸子、山田健、小黒節郎 計5名

支部山行22-78 ゆるやか山行 歴史と文化を訪ねて「生駒山」

福山茂光

2月16日(木)曇

雲間から薄陽射す駅広場は、冬の冷気が肌を刺す。リーダーのご挨拶と体操を終え出発。

枚岡神社の長い石段を上り、神殿に山路の安全を祈る。神武期に造宮された由緒ある古社である。鮮やかな朱塗りの社殿を拝しながら坂道を急ぐ。やがて額田展望台に。眼下に大阪の街並みが霞む。ビル街を縫って道が走り、遠くには淡路島が薄墨色に浮かぶ。

再び山頂へと摂河泉トレイルを登るうち双子塚に達する。山肌に落葉したクヌギ・ナラ林が寒さに耐え春の訪れをまっている。道々に黒い岩石、ハンレイ岩が大小の顔を出す。地下深い溶岩が冷えて今山腹に出ている。数千万年前の生駒山系の営みを感じながら急坂を登る。ようやく標高642mの生駒山頂に着く。春には家族連れで賑わう公園も寒風に晒されている。大阪・奈良の府県境を跨いでの昼食は格別。温かい飲み物が体に沁みる。でもさすがに寒く、体感 -2°C か。山頂からの大阪平野と奈良盆地は、はてしなく絶景が広がる。

昼を過ぎて下山道に。途中、江戸期に宝山寺僧が大般若経を祀ったという経塚を拝し、里人が通る落葉道を一気に下る。深緑のアオキ樹林帯、既に新芽が伸び花の準備をしている。

ほどなく宝山寺塔頭が並び線香煙る境内に。役行者ゆかりの参拝者で賑わう古刹である。健康祈願の後、緩やかに続く門前町の石段を下り近鉄生駒駅に全員が無事到着。冬の生駒山は、じきに春色に彩られるのだろう。

楽しみの「ゆるやか山行」は残り少なく消えるという。寂しいかぎりである。お世話を下さった方々に感謝の気持ちでいっぱいだ。



宝山寺にて 写真提供：前田正彰

【コースタイム】

近鉄枚岡駅9:35～枚岡神社9:50～展望台10:30～双子塚10:45～生駒山頂12:50～経塚13:15～宝山寺14:00～近鉄生駒駅14:40

【参加者】

久保和恵、山内幸子、新本政子、上田典子、内田嘉弘、内田昌子、荻部聖子、黒田守彦、坂口和子、関戸京子、田中昌二郎、前田正彰、松仲史朗、松村文子、山崎 詮、山下政一、福山茂光、八田吉子、池尻英明、金川清弘、黒岩敦子、小林三喜男、田頭夏子、田中アキエ、中田 栄、播戸日出生、横山規江
計27名

支部山行22-82 六甲山を歩く
「黒岩尾根、この絶景を見ずして六甲を語るなかれ」

前田正彰

3月4日(土)晴

新神戸駅に集合し、雌滝の前でストレッチ体操をしていきなりの急階段をゆっくりと登った。雄滝の前で記念写真を撮って先へ進む。水源池までは緩やかな傾斜で景色も良く、癒やされる道程だ。五本松の隠れ滝は一滴の水も落ちていなかった。そのはずだ、水源池の水位は大きく下がっていた。



布引水源池 写真：前田正彰

市ヶ原の櫻茶屋で小休止して出発。お一人はそこから黒岩尾根を回避してハーブ園へと道を別かった。トエンテイクロスから黒岩尾根に取り付いて、いきなりの急登に出合ってみるとそれも正解だったのか、と思わされた。P606からは40m程下り、そこからまた登り。空は春の穏やかさだが、流石にこの尾根では北西からの風と併せてきついものがあった。その最後に本来は今回のタイトルにある「絶景」が見えるはずだったが、春霞に邪魔をされて淡路島と明石海峡大橋は全く視野の外、何とか須磨の鉢伏山から手前の菊水・鍋蓋山までの絶景の片鱗は眺めることができた。その後、以前はクマザサで難渋した道をきれいに刈り取ってくれていて迷うことなく摩耶山に向かうことが出来た。

その途中、これも最近整備されたような「緑と風の丘」

という東屋のある広場で昼食休憩となった。再出発して摩耶三角点で記念写真を撮り掬星台へ。ここでYさんの差し入れの紅茶とケーキで贅沢なティータイムをとって下山。途中、「摩耶の大杉」にも立ち寄り、後は厳しい下りを青谷口まで一目散、そこから阪急王子公園駅に到着した。

【コースタイム】

新神戸駅9:30～布引滝9:52～市ヶ原10:46～黒岩尾根出合
11:11～P606 11:59～摩耶山三角点13:30～掬星台13:55～
青谷口15:17～阪急王子公園駅15:43

【参加者】

松仲史朗、山内幸子、山本義博、久保和恵、橋本圭之輔、
横山規江、荻部聖子、前田正彰 計8名

支部山行22-84 第18回関西のアルプス踏査 「おくの細道アルプス」

深澤優子

3月12日(日)晴

岡山県瀬戸内市にある「おくのほそみち」と「アルプス」を一度に満喫できる「おくの細道アルプス」を歩いた。

登山口で体操後、「砥石城にようこそ」の文字と宇喜多直家が描かれた看板に出迎えられ、登山口より砥石城址を目指して登る。本丸のあった場所に着くと視野が開け、邑久の町が見渡せる。野面積みの石垣沿いに歩くと笠松神社に着く。鳥居を過ぎたあたりから躑躅の小径と名付けられたうっそうとした小道を南へ進む。ツツジ、ヤシヤブシ、ベイマツが茂る。ツツジはまだつぼみが固い。松山を通りすぎ、ヤマザクラ、リョウブがあちこちにある中を更に歩くと最高峰ダンガメ山に到着した。岡山市との境に位置し、頂上の展望所では木々の間から児島湾大橋が見える。

昼食後、尾根道を東に歩き長谷峠を通り過ぎ雄久山を通過。更に眼鏡池を目指し南へ歩くと高雄山登山口と書かれた石碑に出合う。高雄山山頂近くに晩鐘のある弘報寺があり一息入れる。西側に展望所があり、今まで歩いた道が見渡せる。北東に進むと坪相峠の大杉があった。案内板によると落羽松の森と名付けられている。峠を東に進むと雀岩に出た。峠まで戻りヤマザクラがチラホラ咲く尾根道を北に歩くと大賀島寺に着く。愛嬌のある仏様が出迎えてくださる。宇喜多家の供養塔があり、このあたりが大雄山の山頂となる。大雄山アサギ平展望台からは、北方面に熊野山系、南方面は小豆島あたりまで見渡せる。空気が澄んでいれば、はるか大山まで見えると

いう。

アサギ平の北東部より猫の鼻登山道という道を下る。落ち葉が大量に積もっている道にある「猫の鼻」のような岩を西に下り出発地点まで下山した。



高雄山頂上直下にて 写真提供：野村 康

【コースタイム】

JR邑久駅10:00～登山口10:20～ダンガメ山11:50～高雄山
14:00～雀岩14:46～大雄山15:50～登山口16:30～JR邑久
駅16:50

【参加者】

重廣恒夫、新本政子、中村三佳、中山勝也、野村 康、
深澤優子 計6名

支部山行22-86 雪稜シリーズ 「猪臥山」

吉村恵利

3月18日(土)雨のち晴

当初は鉢盛山で一泊二日のテント泊予定であったが、悪天候予報のため一日目はオートキャンプ場泊で翌日に猪臥山日帰り山行に変更となる。

みぼろ湖畔キャンプサイトでテント設営や雪山での防寒対策の説明を受ける。小雨と冷たい風が吹く中、タープを張り、たき火台を囲んで準備して下さっていた食材で鍋などの温かい食事をいただく。登山での様々な体験談などを聞くことができ、学びある楽しい時間を過ごせた。

3月19日(日)晴

夜は風でテントのバタつく音が気になったが、朝目覚めると前日の雨が嘘のように雲ひとつない青空が広がり、絶好の登山日和となった。彦谷の林道からの南尾根から標高1518.8mの猪臥山山頂を目指す。山頂までは歩行距離3km、高低差500m程。緩やかな林道を進んでいくと少しずつ積雪量も増え、スノーシューやワカンを使って

トレースを少し外して浮力の違いを確認しつつ歩いてみる。分岐の小ピークに到着すると木々の間から立山連峰、穂高岳、乗鞍岳など雪がかった美しい山々を望むことができた。本日はここをゴールとし、ショベルでベンチを切り出し、大休止をとりロープワークや荷物の軽量化、ビーコンの使用目的の指導を受けた。

下山ではお互いのスノーシューとワカンを交換して使い比べ、それぞれの特徴を感じることができた。暖かな日が続いていたのでどのくらい雪があるだろうかと不安であったが山頂付近には1m以上の積雪があり、雪山を歩く練習ができた。



猪臥山中ルートにて 写真：吉村恵利

【コースタイム】

猪臥山トンネル南入口9:30～夏道冬道合流10:00～猪臥山中ルート登山口10:20～分岐11:47～猪臥山中ルート登山口14:10～夏道冬道合流14:40～猪臥山トンネル南入口15:03

【参加者】

江村俊也、深澤優子、吉村恵利 計3名

支部山行22-91 ゆるやか山行【里山探訪2】 歴史と文化を訪ねて「沓掛山」

黒岩敦子

3月30日(木) 晴

春のあたたかな日差しを受け、山崎さんを先頭の上桂駅を出発。住宅地入口で唐櫃越え案内板に沿って進み、竹林を抜けた墓地で休憩。久保リーダーからコース案内と「ゆるやか山行」最終回の説明後、山内サブリーダーからもご挨拶。続いて茂木支部長が「青春ハチマル山歩き」について、前田さんから「六甲山を歩く」の変更事項等を聞く。墓地を抜けるとすぐ雑木林のゆるやかな登りが始まり苔寺分岐の丁塚を直進。倒木もあり歩きにくい尾根道にリーダーからの「足元注意！」の声に気を付けて

歩く。桂坂野鳥遊園が下にみえる三叉路の小ピーク到着。昼食と思ったが強い日差しを遮る場所がなくそのまま山田方面に小さなアップダウンを繰り返して進む。ベンチのおかれた中、大展望台も通過して木陰を選んで三々五々に昼食。その後歩きはじめて「沓掛山20分」の案内板にリーダーは「30分はかかるでしょう」と。最後は予告通りの急登を頑張って沓掛山山頂に。三角点タッチ。京都、滋賀の山々を望み内田さんから大枝山、大江山、老ノ坂等の説明を聞く。記念撮影後下山開始。再度の「足元注意！」に全員怪我無く林道分岐到着。今回の唐櫃越えはここで終了。ほっと一息、のんびりしてから老ノ坂バス停まで歩き、バス到着まで楽しい会話で充実したひとときを過ごす。長い間行き届いた準備でお世話いただいた「ゆるやか山行」。参加できた喜び、学んだこと、元気をいただいたことたくさんの思い出。最終回は春の花々にも癒され感謝！感謝！で幕を下ろしました。

いままで本当にありがとうございました。



ゆるやか山行最終回を飾る 写真提供：前田正彰

【コースタイム】

上桂駅9:40～沓掛山12:52～老ノ坂分岐林道合流14:30～老ノ坂バス停15:12

【参加者】

久保和恵、山内幸子、岩崎しのぶ、上田典子、内田嘉弘、内田昌子、苅部聖子、黒田守彦、坂口和子、助川 征、関戸京子、橋本圭之輔、廣瀬健三、深澤優子、前田正彰、松村文子、茂木完治、森澤義信、山崎 詮、山下政一、青木昭、池尻英明、金川清弘、黒岩敦子、小林三喜男、高木知子、田中アキエ、淡野隆久、中田 栄、山西和美、横山規江 計31名

2. 山岳古道調査

支部山行22-67 第22回山岳古道調査
「葛城修験の道」明神山・亀ノ瀬第28経塚
豊田哲也

1月21日(土)晴

友ヶ島より始まった葛城28宿も大和川亀ノ瀬に至り打ち止め。古代から交通の要衝だった大和川周辺には古より利用されてきた幾多の街道、間道が通る。関屋駅を出て長尾街道田尻越の道を進む。観音寺は楠木正成の身代わりに矢を受けたという矢除身替観音が本尊で、境内に役行者が祀られている。新四国八十八ヶ所霊場巡りの道に入り三輪神社にお参りする。境内を出て関電巡視路を北に上がると明神山に続く尾根へ出る。上がった先の関屋地蔵尊付近は河内国分と関屋を結ぶ関屋越が交わる。なだらかな山道を進むと前後に堀切を備えた小ピークがあり十三重石塔が立つ。七郷山城跡だ。明神トレイルと名が付くだけあってトレランの人が多い。



亀ノ瀬龍王社にて 写真提供：永井和

明神山(273.6m)は標高こそ低いが見晴らしが良く大勢の人で賑わっていた。ここで昼食。信貴、生駒、葛城、金剛、二上を始め若草山、大和三山、大峰、大台の方まで望める。頂上部には水神社、展望台、トイレ、悠久の鐘等がある。三角点は地面の石の蓋の下に隠れている。水神社には「日本遺産葛城修験の道第28経塚」の標識。28経塚はここと亀石の2説があり亀石説の方が有力だ。北東の送迎峠より送迎道に入り、亀石へ直接下る谷筋の道を確認に行く。聖徳太子を送迎したとの伝承からヒルメに送迎という字を当てた。谷筋は藪で下りるのは困難。元に戻り藤井へ下山する。この民家でレモンを自由にお持ちくださいとあった。寸志を置いていただく。このあたりレモンで売り出しているらしい。

大和川を渡り、龍田古道に入る。峠八幡にお参りし、いよいよ亀ノ瀬。川幅が狭まった急流に亀石はあった。川岸の龍王社に「第28経塚亀の尾宿普賢菩薩勧進品」の標柱が立つ。龍王社にて皆で葛城28宿完遂を祝い万歳をして記念撮影。

【コースタイム】

関屋駅9:34～明神山登山口10:05～関屋地蔵尊10:43～明神山12:30～送迎道折返点12:57～藤井登山口13:39～亀の瀬龍王社14:44～15:18河内堅上駅

【参加者】

永井和、野村康、新本政子、岩崎しのぶ、上森文字、久保和恵、薦田佳一、関戸京子、豊田哲也、中川委紀子、深澤優子、福井茂光、山内幸子、山西和美 計14名

支部山行22-75 第23回山岳古道調査
「葛城修験の道」番外龍伝説の道

岡野武司

2月11日(土)晴

集合場所の五條駅からタクシーで地福寺に向かう。地福寺で準備体操、その後、草谷寺に向けて歩く。草谷寺で龍尾塚を見つけるまでには、何度か道に迷いながら寺の近辺に到着し、塚を発見する。草谷寺で水分と行動食を軽く摂り、次の龍頭塚の所在を見つけるため出発する。

アスファルトの道を歩き、入口をすぐに見つける。ここから先は登山道を歩く。少し歩くと、今は農作業をしていない畑のような場所に着く。そこからしばらく歩くと開けた場所に出て、ここが旧草谷寺跡らしい。龍頭塚を往復する。さらに進んで高天岸野神社に到着。ここは谷間で、杉などの高木が多く、陽が遮られるため、階段を上り下りする際は、滑らないように注意して歩く。昼食を取れそうな場所を探すが、景色のよい場所はみつからず、適当な場所で昼食とする。



龍胴塚にて 写真提供：永井和

その後、予定通り龍洞塚を確認。植林の中の少し開けたところに塚はあった。そこから軽く藪漕ぎをしながら、北山三角点を見つけてダイトレに合流する。ここから予定外の中葛城山のピークに進み、久留野峠を經由して下山地点のロープウェイ前バス停に到着した。

【コースタイム】

地福寺9:35～草谷寺・龍尾塚10:39～龍頭塚11:36～高天岸野神社12:11～龍洞塚13:20～中葛城山14:02～14:50金剛山ロープウェイ前バス停

【参加者】

永井 和、野村 康、久保和恵、山内幸子、岩崎しのぶ、岡野武司、山西和美、上森文子 計8名

支部山行22-85 第24回山岳古道調査
「吉野道」壺坂越
 松仲史朗

3月19日(日)晴

壺坂越え古道は大和三道の下ツ道より壺坂山を越え、吉野山に至る古道です。近鉄吉野線壺阪山駅から吉野道の第一歩を踏み出す。国道を渡り、今も古い町屋が残る石畳の土佐街道に出る。ちょうど「町家の雛めぐり」が開催中。多くの町家や商店がひな人形を飾っている。



壺阪峠にて 写真提供：野村 康

壺坂道へ抜ける四つ角に「右つばさかよしの道」と刻んだ道分け石がある札の辻に着く。船戸橋で吉備川を渡り、山道に入り壺阪寺に向かう。樹木に覆われ薄暗い参道をたどり、西国三十三ヶ所札所の壺阪寺に着く。香高山を示す町石を見つける。森閑とした雰囲気の中、岩肌に様々な仏像が千体近く彫られた五百羅漢岩があるこの山が香高山だ。高取山にある高取城跡へと往復する。山頂からは吉野、大峰方面が眺望される。

昼食後、高取城跡から壺坂峠に戻り、大淀町へ下る。沢の音が耳に入り安産の滝に着く。滝を過ぎると視界が

開け、役行者と不動明王を祀る龍峯院に出る。さらに県道を歩いて馬佐の妙楽寺に着く。古い標石に「左よしの右つばさか」とあり、古道の痕跡も見つけられた。世尊寺から下って吉野川に出る。美吉野橋の脇に柳の渡し跡の灯笼と「右よしの左いせ」の標石があり、古道はしっかりと残っていた。これ以外にも「椿の渡し」「桜の渡し」があって、吉野山を目指す多くの人々が、川を渡ったのである。

【コースタイム】

壺阪山駅9:16～壺阪寺10:38～五百羅漢岩11:37～高取山12:32～壺阪峠13:55～安産の滝14:26～妙楽寺15:15～世尊寺15:57～16:54六田駅

【参加者】

永井 和、野村 康、新本政子、岩崎しのぶ、薦田佳一、中川委紀子、岡野武司、松仲史朗、水谷 透、宇都宮 浩 計10名

3. ヒマラヤ登山塾

第12回ヒマラヤ登山塾
「関西支部の山ナンガマリⅡ峰」
 茂木完治

1月29日(日) 於：大阪梅田第2ビルB4

ナンガマリ峰はネパールの東端に位置し、カトマンズから遠く離れている。そのためベースキャンプへ2週間のキャラバン、登山に2週間、下山のキャラバンもまた2週間、長い旅の果てにナンガマリⅡ峰はあった。

私にとってヒマラヤは初めてのことで、見るもの、やること全て初めてで驚きの連続であった。まずは資金。寄付金集めに親兄弟、友人知人、勤務先、思いつく所を全部廻った。対人恐怖の私でもしゃにむにやればできるという貴重な体験ができた。ついで極地法。緻密にスケジュールを立て、上部キャンプへの荷上を繰り返す。苦しい荷上作業に溜息をつくこともあった。そして初めての氷河。氷河の彼方に聳えるカンチェンジュンガ、クンバカルナ(ジャヌー)の雄姿は美しいの一言である。そしてⅠ峰の懸垂氷河が目の前で崩落するのは息をのむ景色であった。

高山病で松仲隊員が下山せざるを得なかったのは残念だった。去りながら尾根の上から声は聞こえないが手をメガホンにして「がんばれよー」と叫んでいるのがわかり心に響いた。若い岩井隊員も体調不良で一緒にカトマ

ンズへ下ったが回復して戻ってきてくれた時は隊に希望感がみなぎった。

しかし甘くはなかった。ついに明日がラストアタックと隊長が宣言した。最後の日の朝、心の中で何かが発火し、隊列を抜けだして駆けてしまった。不思議に駆け続けられた。それを見た隊長にロープを2本持たされたが苦しくなかった。そして朝日に輝く標高6000mの景色は素晴らしく、特にエベレストに沈みゆく満月を生涯忘れることはないだろう。

【参加者】

魚津清和、茂木完治、野村 康、小黒節郎、橋本圭之輔、中村三佳、池尻英明、中川委紀子、深澤優子、中久保忠伸、岡谷雄一郎、野村珠生、関戸京子、高田康弘、中谷康司(本部)、松尾みどり(本部)、四方寛之(元登山教室)、西岡睦子(元登山教室)、石川龍彦(日本ヒマラヤ協会)、古谷育子(無所属) 計20名

第13回ヒマラヤ登山塾

「第1回グレート・ヒマラヤ・トラバース」

重廣恒夫

2月19日(日) 於：大阪梅田第2ビルB4

日本山岳会は2025年に創立120周年を迎える。記念事業として、「山岳古道調査」や「語り継ぐ山岳祭」など多くのPJが実施中である。ヒマラヤ関係では若手ヒマラヤニスト育成を目的とした「ヒマラヤキャンプPJ」と、日本山岳会がこれまでにこなしたヒマラヤ登山の足跡を辿りながら、ヒマラヤ地域の環境と生活の変化を検証する「グレート・ヒマラヤ・トラバースPJ」が、カンチェンジュンガからK2までの約5000kmの踏査を目指している。

第1回目はコロナ禍によって頓挫しかけたが、20年春に松田宏也(千葉支部)・吉井修(首都圏)重廣(関西支部)の3名で実施した。私にとっては1984年(カンチェンジュンガ縦走)、2016年(ナンガマリⅡ峰)以来3度目のカンチェンジュンガエリアであったが、大きな変化はタブレジュンからの自動車道路の延伸であった。さらに多くの重機がチベット国境に向かって削岩しているのを目の当たりにした。

目標としたパブクカン(6244m)の登頂は、険悪な残雪に思うようなルートが取れず、登頂はならなかった。またコロナ禍の影響は余りにも大きく、ネパールが命運をかけ、前年の倍増となる200万人の観光客を当て込んだ「2020年観光年」は中止となった。踏査を開始してすぐ

にネパールはロックダウンに入り、すべての登山やトレッキングは禁止となった。下山したカトマンズでは、27日間の軟禁生活を余儀なくされ、予定より1ヶ月遅れて帰国した。

【参加者】

新本政子、池尻英明、魚津清和、岡谷雄一郎、岡田輝子、荻部聖子、後藤健治、薦田佳一、竹中雅幸、豊田哲也、中川委紀子、中村久住、中村三佳、野村 康、橋本圭之輔、深澤優子、茂木完治、四方寛之(元登山教室)、西岡睦子(元登山教室)、石川龍彦(日本ヒマラヤ協会)、木下史朗(大阪うすゆき山の会)、古谷育子、味岡四郎(無所属)

計23名

第14回ヒマラヤ登山塾

「第2回グレート・ヒマラヤ・トラバース」

重廣恒夫

3月26日(日) 於：大阪梅田第2ビルB4

2016年のナンガマリⅡ峰登山時にも遭遇したことであるが、ヒマラヤは地球温暖化による気候変動の影響を大きく受けている現実である。山は音を立てて崩れ、氷河の後退は言うに及ばず、氷河湖の決壊がもたらす土石流は下流の村にも大きな被害を及ぼしている。今回もティプタ・ラの周辺やマカルーBCに向かう途中でその爪痕を垣間見ることになった。GLOFと呼ばれる「氷河湖決壊洪水」は、ヒマラヤ地域保全に暗い影を落としていると言っても過言ではない。

それ以上に深刻な事態は、新型コロナウイルス感染の及ぼした影響である。観光業はもとより、グレート・ヒマラヤ・トラバースで通過している地域は中国・チベット国境に近く、国境周辺の村では生産したカーペットやチーズまた子ヤクなどをチベット側に持ち込み、引き換えにガスなどの生活用品や食品などを村に持ち帰っていた。しかし、2019年のコロナ禍以降、中国のゼロコロナ政策による国境封鎖で交易のできない状態が続いており現金収入減はもとより、生活用品や食料品をコストの高いネパール(自国)側の街から購入せざるを得なくなっている。

オランチュンゴラからチュクンまでの踏査路は往来するトレッカーも少なく自然を堪能できた。特に核心部の3コル越は、昔日のヒマラヤ登山を思い出して余りあった。

【参加者】

新本政子、池尻英明、魚津清和、岡谷雄一郎、岡田輝子、

小黒節郎、苅部聖子、永井 和、中川委紀子、中村三佳、野村珠生、野村康、深澤優子、茂木完治、中谷康司(本部)、吉井 修(首都圏)、四方寛之(元登山教室)、西岡睦子(元登山教室)、石川龍彦(日本ヒマラヤ協会)、古谷育子(無所属)、味岡四郎(無所属) 計21名

4. 救命講習会

「消防局による心肺蘇生術の訓練実施」

今宿瑛三郎

2月5日(日) 於：大阪セルロイド会館

大阪市消防局による救命講習に参加しました。講習のリーダーを務められていた方は、長らく救命の方面におられた経験があるそうで、実際の現場での経験を踏まえ講習を行っていただきました。

自分がこの類の講習を受けた事があったかと思返すと、自動車の運転免許を取得する際に自動車教習所で、受けたとき以来で、遠い昔の話です。今は人工呼吸よりも「胸骨圧迫」と「AED」での処置が第一との事で今まで知識として持っていたものは、古い知識だったのだと痛感しました。AEDは分かりやすい様にシールで手順が書いてあるとは言うものの、初見で本当に使用できるのかは疑問で、このような講習で実際に使用方法を知っておくのはとても重要なことだと思いました。

今回の講習で得た知識のなかで一番衝撃だった事を最後に記載いたします。「胸骨圧迫による心臓マッサージでほぼ間違いなく肋骨は折れるが、止めることなく胸骨圧迫を続ける」

【参加者】

茂木完治、岩崎しのぶ、岡田輝子、苅部聖子、久保和恵、高木知子、永井和、中久保忠伸、中村三佳、野村 康、水谷透、鷺本晴香、井川浩彰、今宿瑛三郎、村上二平(会員外) 計15名

5. 第6回リーダー養成講習会報告

第6回リーダー養成講習会

重廣恒夫

2月18日(土) 晴

2022年度最後のリーダー養成講習会を、六甲城山の南

東尾根で実施、これまで行った講習会の仕上げとして、タイトロープ・転落者救助法・ザック搬送について現場での体験をおこなった。

【参加者】

今宿英三郎、小黒節郎、豊田哲也、坂本明子、鷺本春香、永井 和、中久保忠信、中村三佳、野村 康、深澤優子、前田正彰 計11名

6. 山の天気ライブ授業

山の天気ライブ授業

岡田輝子

2月26日(日) 於：生駒山山上

昨日の室内講義に続き今日は観天望気の実地授業である。会場は生駒山山頂。待ち合わせはケーブル山上駅に10時半。到着したころは青空に雲が流れる寒空であった。雲があることで観天望気にはいい日である。



次々に押し寄せる雲に講師も熱が入った 写真提供：茂木完治

まずいろいろな雲「十種雲形」を習った。天気図を読み、高度と気温の関係を知ることで天気の開きがわかるという。展望台まで移動。眼下は大阪平野が広がる。目の前には横一直線のやや濃い灰色の雲が低い位置に帯のように横たわっている。授業としては抜群の材料。この雲を層積雲、うね雲という。眼を転じ、京都方面から中山連山、六甲山は、灰色のカーテンが垂れ下がり、しぐれているようだ。我々のところにも小雪がちらついてきた。すぐに消える雪の結晶が一ミリ以下なのに極小の芸術に感動した。北からの風が強まり、目の前のうね雲は、どんどん形を変えて、猪熊氏のご説明も熱がこもる。「雲にやる気がある」とは、天気が崩れるという意味で積乱雲

や雷雲に発達する可能性のある雲で、今日は、穏やかなおとなしい「やる気のない雲」とのこと。

生駒山の頂上は遊園地で、SL列車の敷地内に1等三角点があることは登山者によく知られている。しかし今日は遊園地の施設がペンキ塗り立てで立入禁止のため、柵の外から写真を撮った。授業は午前中ということで、ケーブル乗り場に戻った。南の方角にふんわかと上部がもこもこしている雲が浮かんでいて、これも層積雲だった。

山頂での授業は、360度の曇り空が時間の経過とともに展開する絶好の気象で、有意義だった。

【参加者】

茂木完治、今宿瑛三郎、岩崎しのぶ、岡田輝子、小黒節郎、荻部聖子、坂本明子、豊田哲也、永井 和、中久保忠伸、深澤優子、松村文子、池尻英明 計13名

【講師】

猪熊隆之氏(株式会社ヤマテン)

7. 道迷い講習会

道迷い講習会 講師：青山千彰

深澤優子

3月11日(土)

JR福知山線の道場駅に集合。まずは駅前の駐車場でコンパスを使った三角形の歩行練習を行った。次に踏切を渡り、波豆川沿いの歩道にて各々の歩幅と歩数を測った後、地図とコンパスから現在地を確認する練習をした。その後、藪中の比較的平坦な場所で、50歩の三角形の歩行練習をした。後でスマホのGPSの軌跡をみたところ、見事な不等辺三角形になっていた。コンパスで方向を合わせて歩いたつもりだが、まだまだ、地図の読めない女だ。コンパスを駆使して地図を読みながら進んだ。等高線の幅の間にも結構な高度差があること。

地図上に書かれている川は、ある程度の幅がなければ記載されていないこと等の説明を受けた。標高172mの三叉路を越えた地点で「この場所を覚えておいてください。ここまで戻ってきてもらいます」と先生がおっしゃった。地図上の位置を確認。丸山目指して登る道の中腹で、先生が指定された位置標高198m地点から、藪の中を先ほど指定された位置めざして磁石をたよりに歩いた。左右の山、送電線をたよりにトラバースして下るのは、かなり困難だった。先頭の見事なコンパスナビにより、ズレを修正しながら指定位置に見事に到達することがで

きた。今後、この体験をもとに地図が読めるように努力したいと思う。

【コースタイム】

JR道場駅9:30～羽束川橋10:00～三叉路13:30～登山道途中15:14～藪漕ぎ～三叉路16:20～JR道場駅17:20

【参加者】

青山千彰、茂木完治、永井 和、上森文子、野村 康、岡谷雄一郎、深澤優子 計7名

8. 自然保護報告

令和5年1～3月

「本山寺山森林づくりの会」活動報告

◆日時：2023(令和5)年1月15日(日)9:30～15:00

気象：薄曇

活動エリア：45林班に-01

活動内容：地域環境保全(倒木処理、過密広葉樹除伐)、林床整備

参加者：猪川 誠、内海宏一、大本孝子、斧田一陽、工藤貴士、菊山美紀子、武田壽夫、中川義行、中村賢三、春名浩一、宮本廣、山本國夫 計12名

◆日時：2023(令和5)年1月22日(日)9:30～15:00

気象：薄曇

活動エリア：45林班ろ-03、01

活動内容：地域環境保全(倒木処理、過密広葉樹除伐)、林床整備、作業歩道整備

参加者：猪川 誠、石田美和、斧田一陽、菊山美紀子、黒山泰弘、武田壽夫、竹歳三喜子、寺田昭弘、中川義行、中村賢三、宮本廣、山本國夫 計12名

◆日時：2023(令和5)年2月2日(木)9:30～15:00

気象：薄曇

活動エリア：45林班ろ-03

活動内容：地域環境保全(作業歩道整備、倒木処理、過密広葉樹除伐)

参加者：斧田一陽、菊山美紀子、黒山泰弘、武田壽夫、竹歳三喜子、当山清之、春名浩一、中川義行 計8名

◆日時：2023(令和5)年2月9日(木)9:30～15:00

気象：薄曇

活動エリア：45林班に-03、ほか

活動内容：地域環境保全(作業歩道整備、倒木処理、過密広葉樹除伐)

参加者：猪川 誠、石田美和、斧田一陽、菊山美紀子、

黒山泰弘、武田壽夫、田村綾子、寺田昭弘、当山清之、中村俊夫、春名浩一、中川義行、宮本 廣

計13名

◆2023(令和5)年2月19日(日)は雨のため中止

◆日時：2023(令和5)年3月2日(木)9:30～14:30

気 象：晴

活動エリア：45林班ろ-03、05

活動内容：地域環境保全(倒木・枯損木処理、過密広葉樹除伐)、林床整備、モニタリング現況調査(除伐本数確認)

参加者：猪川 誠、石田美和、斧田一陽、栗原昌揮、倉谷邦雄、黒山泰弘、武田壽夫、竹歳三喜子、寺田昭弘、当山清之、春名浩一、中川義行

計12名

◆日時：2023(令和5)年3月19日(日)9:30～15:30

気 象：晴

活動エリア：45林班に-03

活動内容：A-1地域環境保全タイプ(里山林保全;倒木処理、支障広葉樹除伐、枝打ち、林床整備)

参加者：石田美和、斧田一陽、大本孝子、菊山美紀子、黒山泰弘、河野直子、武田壽夫、寺田昭弘、中村賢三、春名浩一、湊 亮、宮本 廣、山本國夫

計13名



2023年7月～9月 山行委員会行事案内

※後尾に申込み先連絡先掲載【いずれも締切厳守】

23-18 第27回山岳古道調査

「吉野道・芋越」

日 時：7月8日(土)檜原神宮前駅東口8:30集合

コース：駅～石舞台前バス停～小峠入口～芋ヶ峠～千股～大和上市駅

申込み：7月1日(土)迄(担当：永井 和)

23-19 関西のアルプス踏査

「兵庫北アルプスⅠ(日名倉山～駒ノ尾)」

日 時：7月9日(日)～10日(月)テント泊

詳細は申込者に連絡します

申込み：6月29日(木)迄(担当：重廣恒夫)

23-20 青春ハチマル山歩き

「室生寺杉並木～仏隆寺千年桜～高井千本杉」

日 時：7月13(木)近鉄室生口大野駅10:10集合(バス10:19発)

コース：室生寺～唐戸峠～仏隆寺～494m無名峰～高井千本杉～赤埴口バス停

申込み：7月6日(木)迄(担当：茂木、申込みは岡田輝子)

23-21 例会(7月)

「北アルプス・鹿島槍ヶ岳」

日 時：7月15日(土)～17日(月・祝)山小屋泊り

集 合：7月15日JR信濃大町駅8:20

コース：扇沢～種池小屋～爺ヶ岳～冷池小屋(泊)～鹿島槍ヶ岳～冷池小屋～種池小屋(泊)～扇沢

申込み：6月27日(火)迄(担当：水谷 透)

23-22 沢登り例会

「台高山脈・本沢川黒倉又谷」

日 時：7月17日(月・祝)

コース：奈良県川上村吉野川支流

詳細は申込者に連絡します。

申込み：7月6日(木)迄(担当：中久保忠伸)

23-23 アルパインクライミング

「北アルプス龍王岳東尾根」

日 時：7月20日(木)～22日(土)

申込み：6月30日(金)迄(担当：江村俊也)

※安全確保のため募集2名(クライミング経験者のみ)

23-24 川の渡り方講習会

「安全な川の渡り方」

日 時：7月23日(日)JR京都駅烏丸口JRバス乗場8:15

集合(周山行バス8:30発)

コース：清滝川の夫婦橋バス停付近

申込み：7月16日(日)迄(担当：茂木完治)

※着替え、ウォーキング靴、不要な靴下必要

23-25 第16回ヒマラヤ登山塾

「GHT3rd報告」

日 時：7月30日(日)15:00～17:00

場 所：大阪梅田第2ビルB4

申込み：7月20日(木)迄(担当：重廣恒夫)

23-26 海外登山

「韓国の沢登りと名峰・北漢山」

日 時：8月11日(金)～15日(火)

コース：12日大房谷沢登りと頭陀山登山、13日武陵溪谷探勝、14日ソウル観光、15日ソウル北漢山登山後帰国

申込み：6月末迄若干名可能(担当：茂木完治)

23-27 関西のアルプス踏査

「兵庫北アルプスⅡ(三室山～赤谷山)」

日 時：8月12日(土)～13日(日)テント泊

詳細は申込者に連絡します

申込み：8月2日(水)迄(担当：重廣恒夫)

23-28 第28回山岳古道調査

「吉野道・細峠越」

日 時：8月26日(土)近鉄桜井駅9:00集合

コース：駅～旧鹿路トンネル前～細峠～細峠村跡～三津～三津登山口～三津峠(宮奥越)～大峠～針道～不動滝バス停

申込み：8月19日(土)迄(担当：永井 和)

23-29 第17回ヒマラヤ登山塾

「グレート・ヒマラヤ・トラバース」企画過程公開」

日 時：8月27日(日)15:00～17:00

場 所：大阪梅田第2ビルB4

申込み：8月17日(木)迄(担当：重廣恒夫)

23-30 青春ハチマル山歩き

「高野山・摩尼山と巨杉の奥之院参道」

日 時：9月7日(木)南海ケーブル高野山駅10:06集合
(奥の院行バス10:12発)

コース：奥の院前バス停～姑射山～摩尼山～黒河峠～奥之院～一の橋前バス停

申込み：8月31日(木)迄(担当：茂木、申込みは岡田輝子)

23-31 関西のアルプス踏査

「兵庫北アルプスⅢ(三の丸～氷ノ山)」

日 時：9月9日(土)～10日(日)テント泊

詳細は申込者に連絡します

申込み：8月30日(水)迄(担当：重廣恒夫)

23-32 六甲山を歩く

「奥六甲の秘境を歩く」

日 時：9月2日(土)新神戸駅1階東詰9:30集合

コース：新神戸駅～トウエンティックロス～徳川道～黄蓮谷～石楠花山～炭ヶ谷～神鉄谷上駅

申込み：8月28日(月)迄(担当：松仲史朗)

23-33 月例会(9月)

「金剛山ツツジオ谷からカトラ谷」

日 時：9月16日(土)南海河内長野駅8:45集合(バス8:55発)

コース：金剛登山口バス停～ツツジオ谷～金剛山～カトラ谷～金剛登山口バス停

申込み：9月8日(金)(担当：井川浩彰)

23-34 沢登り例会

「大峰山脈・上多古川上谷」

日 時：9月18日(月・祝)

コース：奈良県川上村吉野川支流

詳細は申込者に連絡します。

申込み：9月7日(水)迄(担当：中久保忠伸)

23-35 第30回山岳古道調査



「因幡交流鉄の道」

日 時：9月23日(土)～24日(日)

コース：兵庫・鳥取県境の江浪峠と大通峠越

詳細は参加者に連絡します。

申込み：9月13日(水)迄(担当：永井 和)

23-36 第18回ヒマラヤ登山塾

「マナスル登山の歴史と地域研究」

日 時：9月24日(日)15:00～17:00

場 所：大阪梅田第2ビルB4

申込み：9月14日(木)迄(担当：重廣恒夫)

23-37 クライミング

「六甲・蓬莱峡」

日 時：9月28日(木)阪急宝塚駅 8:30集合

申込み：9月21日(木)迄(担当：江村俊也)

申込み先一覧

江村俊也	tobi.osaka@me.com
岡田輝子	smiler8823teruko@true.ocn.ne.jp
重廣恒夫	tsuneo.shigehiro@outlook.com
井川浩彰	ikawa@sensyu.ne.jp
豊田哲也	zat04126@nifty.com
永井 和	nagai.kazu@gmail.com
中久保忠伸	qq8v9xu9tnnt@jcom.zaq.ne.jp
水谷 透	jacmztn@yahoo.co.jp
松仲史朗	mgjqk966@ybb.ne.jp
茂木完治	yib03510@nifty.com
関西支部	kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp

2023年(8～11月)

ステップアップ登山教室 一般募集

(会員・準会員・会友も参加可能)

申込先：豊田哲也、中久保忠伸(2人で担当)

受講料：4か月で8,000円。座学受講時に徴収。

※詳細については関西支部ホームページをご覧ください。

・登山教室座学(初級・中級・上級) 8月19日(土)

・初級(登山に必要な知識・技術・体力養成)

9月 9日(土) 天神岳～黒谷山

10月14日(土) 大船山

11月 11日(土)奥山

・中級(初歩の沢歩き、岩場の通過と登攀具の使用)

9月 3日(日) 丹生山系・柏尾谷

10月15日(日) 丹生山系・屏風川

11月18日(土) 丹生山系・枯木ヶ池谷

・上級(初歩の岩登り)

9月 7日(木) 金毘羅・北尾根

10月 5日(木) 裏六甲・不動岩

11月 9日(木) 六甲・キャッスルウォール

※上記とは別に6月より入門コースを開設

・入門コース(これから山登りを始めたい人向けの登山教室)

受講料：6月より4か月で8,000円

担当：重廣恒夫

6月10日(土) 座学

7月 8日(土) 城山

8月 5日(土) 摩耶山

9月 2日(土) 六甲山

山の日関連行事
「山の日講演会」のご案内

無料・一般参加可

日 時 8月6日(日)13時開場、13時30分開演

演 題 山岳気象予報士で恩返し

講演者 猪熊隆之氏

会 場 アットビジネスセンター大阪梅田701号室

*会場は定員100名のため満席の際はご容赦ください。



猪熊隆之氏の「山の天気ライブ授業」
受講者募集

机上講義

日 時 8月5日(土) 16:30～18:30

会 場 セルロイド会館301会議室(地下鉄今里駅)

定 員 40名(一般参加可)

会 費 無料

山の天気ライブ授業

日 時 8月6日(日) 9:30～11:30

会 場 天王寺阿倍野ハルカス300展望台

定 員 20名(机上講義受講者のみ)

会 費 無料ですが、ハルカス入場料1500円は各自負担ください

申込先 茂木完治 yib03510@nifty.com

2023年7月～9月 自然保護行事案内

令和5(2023)年7～9月東おたふく山ススキ草原復元活動
お休み

1. 「日本山岳会関西支部 本山寺山の森」森づくり活動(本山寺山森林づくりの会活動)

活動日：7/6(木)、7/16(日)、7/23(日・臨時)、8/3(木)、8/20(日)、9/7(木)、9/17(日)

集 合：JR京都線高槻駅北アルプラザ前 8時40分
作業体験、森林観察、入会歓迎です

2. 東お多福山ススキ草原復元活動(東お多福山草原保全・再生研究会活動)

活動日：7/15(土)夏のササ刈り、9/27(水)秋の植生調査・ササ刈り

観察会：7/17(月)、8/19(土)、9/11(月)

集合場所・時間：JR神戸線芦屋駅南口、8時30分

問い合わせ・申込み先

斧田一陽(全般)

☎/FAX 072-633-6556、090-4037-4542

武田壽夫(本山寺山の森)

☎090-2042-9101

田島聖子(東おたふく山)

☎078-411-3837

締切：開催日の2週間前まで

お詫び

◎191号の「回想のJAC指導者たち」で次の一文が抜けておりました。

(「青い山脈」は藤木祭の芦屋コーラスの定番にもなっていた。)に続いて、

涸沢の大テントの撤収作業(徳沢園まで)を我々6人のアルバイトとして雇用されたことが更なる展開をもたらした。徳沢園には早稲田OBの関根吉郎さんが居られ、この夜、予期せぬシンポジウムを拝聴する機会にも恵まれた。頂いたアルバイト代と、玉野女子高校の予備食糧をありがたく頂戴して6人がまたまた山に戻ったことは言うまでもない。

◎「22-44金剛山第21経塚・大タワ地藏」の記録執筆者ですが、上森文子さんです。

以上、お詫びして訂正いたします。

◎スケッチ同好会◎

【報 告】

第53回 百丈岩、鎌倉峽

日 時：2023年3月13日(月)

参加者：岡田輝子、薦田佳一、高木知子、河野直子、
播戸日出生、嶋岡章、田頭夏子、岩崎しのぶ、
横山規江、浦上芳啓、久保和恵、金井良碩

計12名



百丈岩 浦上芳啓 画

【案 内】

第55回 スケッチ会

日 時：2023年7月10日(月)

行 先：丸山城跡と金仙寺湖

集 合：阪急電鉄神戸線 夙川駅改札口前 午前8時30分

申 込：2023年7月6日(木)までに岡田輝子まで

smiler8823teruko@true.ocn.ne.jp 又は09056685716

備考：雨天中止(参加者には前日に連絡)

第56回 スケッチ会

日 時：2023年9月25日(月)

行 先：須磨浦公園山上遊園

集 合：山陽電車・須磨浦公園駅 午前10時

申 込：9月19日(火)までに河野直子まで

yamaboushi2352@gmail.com 又は090-6960-9998

備 考：雨天中止(参加者には前日に連絡)

特別
編集

夏山 2023

憧れの百名山へ

発売中

★モンベルのウェブサイト、全国のモンベルストアや書店にて発売中!



特別価格:1,200円(税込)

モンベルクラブ入会キャンペーン

岳人年間購読が断然おトクに!

年間購読通常特典 購読割引 送料無料 限定品プレゼント

さらにモンベルクラブ会員さまには **5,000P** プレゼント!

モンベルクラブ会員さまで、現在年間購読中の方は、次回継続時に5,000ポイントをプレゼントします。

年間購読のお申し込みはこちらから! <https://www.gakujin.jp/>



全国のモンベルストアでも受付中!

お問い合わせ 0120-982-682 / TEL 06-6538-5797
モンベルポスト ※フリーコールは携帯・IP電話からはご利用いただけません。

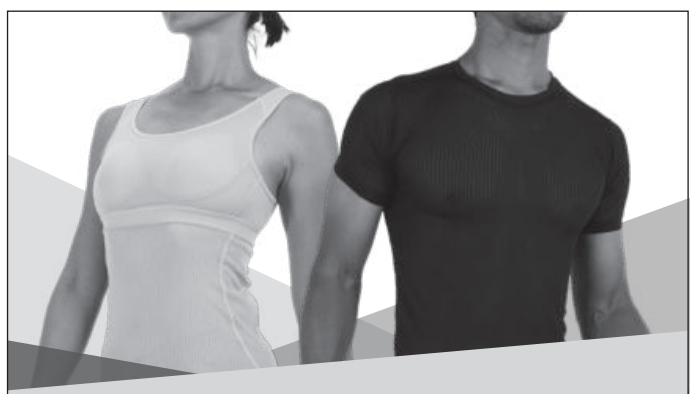
BLUE ICE ワディ22L ¥17,600

マルチピッチで使えるシンプルなクライミングバック。1000デニールで抜群の耐久性。

- カラビナ付きロープストラップはビレイ時にも使用可能
- ヘルメットホルダー付属
- アックス/ポールキャリア付属
- 選べるカラー3色
- 15L、32Lも展開あり



輸入元:(株)ケンコー社 TEL:06-6374-2788



この1枚が、登山を変える。

DRY LAYER®

finetrack®

ドライレイヤー 検索

〈編集後記〉

☆第3回グレート・ヒマラヤ・トラバースに参加し、初めて5000mを越える世界を体験した。酸素が平地の半分しかない世界は苦しく、登山靴を履くのも、リュックを背負うのも苦しかった。夜、息苦しくて目が覚め、酸素が恋しくてたまらなかった。しかしそれと引き換えに、エベレスト、マカルー、ローツェ、チョ・オユーなど名立たる高峰の姿に息を呑んだ。なんとか高度順応できたのは、マニ車を一生懸命回したご利益だろう。(中村三佳)

第192号 2023(令和5)年6月10日 発行
 発行所 〒530-0015 大阪市北区中崎西1-4-22 梅田東ビル3階 304号室
 公益社団法人 日本山岳会関西支部
 e-mail: kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp
 郵便振替口座 00930-6-55950

発行者 茂木完治
 編集 加藤芳樹 坂田洋子 中村三佳
 制作 株式会社 双陽社 大阪市北区堂島2-2-28



私たちは人と自然をつなぐ道具を提案します。

IWATANI-PRIMUS
イワタニ・プリムス株式会社
www.iwatani-primus.co.jp
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-12-20